

平成16年5月21日

各 位

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成16年2月20日の「第3四半期業績の概況」発表時に公表した平成16年3月期（平成15年4月1日～平成16年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成16年3月期通期業績予想数値の修正（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年2月20日発表)	144,000	400	2,950
今回修正予想(B)	143,700	110	4,970
増減額(B-A)	300	290	2,020
増減率(%)	0.2	72.5	
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期)	159,424	1,512	3,465

2. 平成16年3月期連結業績予想数値の修正（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成16年2月20日発表)	154,000	400	2,560
今回修正予想(B)	155,000	270	4,630
増減額(B-A)	1,000	130	2,070
増減率(%)	0.6	32.5	
(ご参考) 前期実績(平成15年3月期)	167,871	1,664	3,452

3. 修正の理由

単体業績予想の修正

経営体質強化を目的とした、不採算店の閉鎖による閉店セールなどにより、荒利率が計画よりも低下したことに連動して、経常利益が予想を下回る見込みです。

また、3期連続で税引前当期純損失を計上するやむなきに至ったこともあり、日本公認会計士協会の指針に照らし、保守の見地から繰延税金資産の1,932百万円を取り崩すこととし、当期純利益も大幅に予想を下回る見込みになりましたので、業績予想を修正いたします。

連結業績予想の修正

連結財務諸表提出会社の通期業績予想の修正に伴い、連結業績の修正を行うものであります。

今後の政策

今期（平成17年3月期）は、前期に引き続き、売上拡大路線ではなく、利益確保型の経営モデルの更なる徹底により、経常利益のみならず、営業利益の黒字確保を目指す経営年度と位置付けております。

また、今期中に不採算店の整理を終了させ、来期（平成18年3月期）には、営業利益、経常利益の大幅な増益ならびに、当期純利益の黒字確保を計画しております。

以上